

たかしま市民協働 交流センターだより

23号
2014年4月発行



特集 5年後のたかしま市民協働交流センターをめぐりて

平成25年度 協働提案事業
「まちの駅」空間創造事業
【平成24年度からの継続事業】

一般社団法人めいどいんマキノ

連絡先 TEL & FAX : 0740-20-1361
事務局：高島市マキノ町高木浜1-4-1

INDEX

- 特集 5年後のたかしま市民協働交流センターをめぐりて
- たかしまの元気！企業 ～株式会社澤村～地域の活性化と新しいまちづくりをめざして
- 地域の課題について誰もが話合える場を地域につくる市民による、市民のためのまちづくり たかしま・未来・円卓会議
- いろいろやっています！in たかしま市内でがんばっているNPOや市民活動団体を紹介
- インフォメーション

マキノ駅前の物産会館や広場・公園・街路などが集まる公共空間を、地域の元気づくりのキャンパスとして有効に活用しながら、温もりと安心のまなざしが感じられる交流空間づくりにつなげる活動を協働提案事業で取り組みました。まちづくりから生まれた特産品のアンテナショップとして、物産会館では、住民や観光客が休憩できるスペースで人の交流が図られています。地元中学生が町歩きして描いた駅前活用アイデアから、子ども達も立ち寄れるカフェを「こうなったらいいなあ市」や「交流軽トラ市」に取り入れました。駅前自治会や商店会などと防災訓練で「かまどベンチづくり」をするなど地域コミュニティの場もできました。観光シーズン前には駅前の「おそうじ散歩」を実施し、公共空間を地域で守る意識づくりをしています。「人と人との出会いと交流促進」という「まちの駅」の理念を具現化する活動を創造し続けていきたいと思っています。

INFORMATION

高島市制10周年記念事業
映画じんじん高島市上映会（日本語字幕付き）

「絵本の里」で知られる北海道剣淵町を舞台に、絵本の素晴らしさと親子の絆、人のつながりの暖かさを描いた映画です。
ご家族みなさんでご覧ください。



日時	4月5日(土)
上映時間	① 午前10時30分 ② 午後2時30分
会場	高島市民会館
日時	4月20日(日)
上映時間	① 午後1時00分
会場	文化交流施設やまびこ館

日時	4月26日(土)
上映時間	①午前10時30分 ②午後2時30分 ③午後6時30分
会場	藤樹の里文化芸術会館

※①、②の時間帯は託児があります。
託児のお申し込みは上映日の10日前までに下記へご連絡ください。

入場料	前売り券 一般	1,000円
	小中高生・障がい者	800円(前売・当日同料金)
	当日券 一般	1,500円

販売所 高島市民会館 市内各公民館
文化交流施設やまびこ館 今津東コミュニティセンター
藤樹の里文化芸術会館

主催：映画「じんじん」高島市上映実行委員会
共催：高島市・高島市教育委員会
後援：滋賀県教育委員会
(社福)高島市社会福祉協議会
高島市共同募金委員会
申込・問い合わせ先
たかしま市民協働交流センター

「たかしま市民協働交流センターだより」の タイトルが新しくなります！

本冊子は、高島で地域の魅力づくりや地域課題の解決、まちづくりなどに取り組む市民、市民活動団体、企業などの活動を紹介し、出会いとつながりで、協働を進める情報誌を目指しています。「市民と多様な主体を結びつける」という役割と、「多くの方に親んでもらいたい!」という想いを表現する、新しいタイトルに変更します。現在、「おむすび・たかしま」や「たかしま市民プラス」など候補が絞られてきました。
次号(7月発行)がどんなタイトルになるのか、お楽しみに！

編集後記

ようやく春がやってきました。
新年度、新学期を迎え、新しい出会いに胸躍る季節ではありますが、止まらないくしゃみに悩まされる方も多いのではないのでしょうか。
自然豊かな高島の春は、花見に、山菜、歓送迎会と、お酒がおいしい季節でもあります。地元の造り酒屋で、おいしいお酒を買いこんで気の合う仲間と「たかしまの未来」を語り合うにも最高の季節ではないのでしょうか。兎にも角にも、今年度もどうぞよろしくお願いたします。

市民による、市民のためのまちづくり
たかしま・未来・円卓会議
平成26年度キックオフ～円卓会議の可能性～

持続可能な社会、地域資源の活用、一人ひとりが主役のまちづくりなど、平成25年は高島の未来に関わるさまざまなテーマで円卓会議を進めてきました。今年度は多様な市民、事業者、行政がともに地域の未来、地域の課題について話し合い、それぞれの特性を活かし、協働で解決していく道を模索する円卓会議を進めていきます。全国各地で取り組まれている地域円卓会議の事例を聞き、高島での可能性をみなさんで考えたいと思います。

日時	4月27日(日) 13:30～16:30
講師	川北 秀人 氏 (IHOE 人と組織と地球のための国際研究所) 「自治を回復し、まち・むらの課題を、まち・むらの力で解決するために～地域の総動員を促す円卓会議～」

場所	今津東コミュニティセンター (JR湖西線 近江今津駅より徒歩3分)
参加費	無料
対象者	高島市の未来、地域課題に関心をお持ちの市民、市民活動団体、事業者、行政の方など

申込・問い合わせ先
たかしま市民協働交流センター
詳細は、たかしま市民協働交流センターブログに掲載しています。

横断幕・ポスターなど大判プリント料金変更のお知らせ

大判プリンターを使った横断幕やポスターのプリント料金を変更いたします。

- A1カラープリント

普通紙	270円
厚口コート紙	330円
- 横断幕・垂れ幕(50cmあたり)

普通紙(一色)	270円
普通紙(カラー)	300円
厚口コート紙(一色)	330円
厚口コート紙(カラー)	350円
- デザイン作成料

1枚あたり	100円
-------	------

 ※デザイン作成をご依頼の場合は、3日間程度お時間がかかります。

◆ このページに関するご応募・お問合せ
たかしま市民協働交流センターまで、お気軽にお問合せください。

発行/たかしま市民協働交流センター
〒520-1622 滋賀県高島市今津町中沼 1-4-1
(今津東コミュニティセンター内)
TEL/ 0740-20-5758 FAX/ 0740-20-5757
MAIL/ webmaster@tkkc.takashima-shiga.jp
http://tkkc.takashima-shiga.jp/ facebook
http://tkkc.shiga-saku.net/ twitter
業務時間/ 祝日を除く月～金曜日 9時～17時

特集

5年後のたかしま市民協働交流

センターをめざして

5年後のたかしま協働交流センター
ウィッシュュポエム

「市民がつくる交流センター」

市民・市民活動団体・企業・行政、
みんなの語り場があるセンター
になったらいいね。

コーディネート出来る基盤づくりと
データの収集と構築があるセンター
になったらいいね。

情報が集まるセンター、タイムリーな
情報発信のできるセンター
になったらいいね。

市民のアイデアで情報誌が
制作されるセンター
になったらいいね。

遊びの空間のあるセンター
になったらいいね。

「縁結び機能」

市内だけでなく、市外からも認知され、何もな
くてもつい顔を出してしまいたくなるセンター
になったらいいね。(情報発信機能)

全ての市民が気軽に困りごとなどを相談でき
るセンター
になったらいいね。(サポート・育成機能)

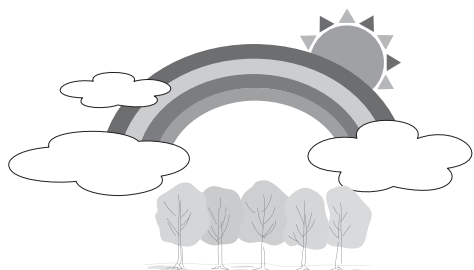
たすけあい、たすけてもらい、和気合い合い
センター
になったらいいね。(エナジー・潤滑機能)

様々な壁を越えて様々な人々のつながりを
つくる、市民全員が会員
になったらいいね。(つながり文化創造機能)



たかしま市民協働交流センター協議会は、
市民有志による運営委員（12名）と会員に
より運営方針や事業について協議して運営
しています。

5年後のウィッ
シュ(願い)を目
指して、どんな事
業や仕組みづくり
に取り組んでいく
といいかについて、
検討しました。



平成26年度

- ・協働を進める事業
市民による、市民のためのまちづくり
たかしま・未来・円卓会議
- ・ネットワークづくり・市民活動フェスタ
住民参加型助け合いサービス連絡会、
除雪対策支援ネットワークなど市内の
ネットワークに参加

市民活動サポート

動画や音声で発信講座、市民活動相談
会、まちの縁側

平成29年度

- ・ネットワークづくり
市民活動フェスタ、市内のネットワー
クなどに参加
 - ・市民活動サポート
市民活動のための※プロボノ登録、市
民活動団体への出張相談対応
 - ・人材育成
多様な年代の市民活動する人が集まる
フリー討議と人づくりの場
- ※プロボノとは、専門性の高い職業の方が、持って
いる知識・スキルや経験を活かして社会貢献するボラ
ンティア活動全般。

5年後には、高島市内の市民活動やボラン
ティア活動、各地のまちづくりの取り組みに
ついて、より多くの人が知り、参加し、さま
ざまな立場の人が地域のことについて話し合
う場が広がっている。そんな高島市を描きな
がら活動を続けていきたいと思えます。
みなさんのご意見やアイデアなどお待ちし
ています。



平成28年度

- ・ネットワークづくり
市民活動フェスタ、まちづくりの情報交
換や相談ができるカフェ、市内のネッ
トワークなどに参加
- ・人材育成
子どもたちのたかしま・未来・円卓会議

平成27年度

- ・協働を進める事業
市民による、市民のためのまちづくり
たかしま・未来・円卓会議
- ・ネットワークづくり・市民活動フェスタ
市内のネットワークなどに参加
- ・人材育成
まちづくりサポーター講座
- ・市民活動サポート
インターネット活用
で情報発信講座、市
民活動相談会、まち
の縁側市民活動団体・
ボランティアグループ
紹介・常設写真展

市民による、市民のためのまちづくり たかしま・未来・円卓会議

地域の課題について誰もが 話合える場を地域につくる

地域の課題を「自分ごと」として考え、何ができるのかを一人ひとりが考える機会として、「たかしま・未来・円卓会議」を10回開催しました。市内外のまちづくりの取り組みを聞き、のべ220人の参加者で未来の高島を思いながら、私たちにできることを考えてきました。

「市民による市民のための幸せ社会づくり」（5月）

経済的な豊かさ、物の豊かさを求めて進んできた日本社会。持続可能な社会のために「豊かさ」の転換が必要ではないでしょうか？高島に住む私たちは、どんな「豊かさ」に価値を置く社会を目指していくのでしょうか？という問いかけから始まりました。

「環境とまちづくり編」（7月、8月、9月）

人口3000人、山林92%の福井県池田町。発想の転換で、ここにしかない「価値」を地域の人々が見出して地域を活性化してきた事例から、高島の「価値」を参加者で探りました。百年後のふるさとを守る仕組みづくりに奮闘する畑の棚田保存会から、棚田オーナーとして外から人を呼び込み、内と外の棚田保存意識を育てる取り組みを聞き、地域に残したい自然や人のつながりのある未来を思い描きました。高島市環境政策課から、高島市がめざす「水と緑と人を大切に、自然と共生するまち ～未来へ誇れる高島の環境づくり～」への取り組みとゴミ減量大作戦について聞き、市民ができることを考えました。

「地域資源の活用とまちづくり編」（10月、11月、12月）

過疎高齢化が進む豊郷町。空き家を活用した地域サロンと人のつながり作りを進めるNPO法人とよさとまちづくり委員会の取り組みから、気軽に地域のことを話し合う場の可能性を感じました。地域の文化と情報発信拠点「高島びれっじ」では、地域の中に観光客を迎える意識が育ってきたことを、人と人のつながりと助け合いの仕組みづくりを進めるNPO法人元気な仲間から、日常のふれあいとお互いの支え合いの大切さを聞きました。高島市長寿介護課、高島市社会福祉協議会から介護予防の取り組み、見守り活動や地域サロン活動の紹介、高島市市民活動支援課からは若者移住促進の取り組みを聞きました。地域の困り事などを話せる人のつながりの大切さと市民の役割を考えました。

「一人ひとりが主役のまちづくり編」（1月、3月前半、後半）

社会福祉法人虹の会が運営する「ぎょうれつ本舗」は、障がい者が買い物困難な山間地域で移動販売を行い、人に役立つ喜びと誇りを持って社会参加しており、高齢者、障がい者、誰もが主役として地域に関わるまちを思い描きました。東近江市のあいとうふくしモール視察では、障がいがあっても高齢になっても安心して暮らせる拠点づくりと地域のケアニーズに24時間対応しようと地域で話し合いを重ね実現した経過を聞きました。里山の間伐材を薪にする障がい者、地域の農産物を地産地消レストランに活用し、高齢者のケア施設へお弁当として提供。施設の屋根は太陽光市民共同発電所として利用。多様な組織と人の連携による可能性の広がりを感じました。

平成26年度の「たかしま・未来・円卓会議」は、4月27日（日）から始まります。
詳細は、たかしま市民協働交流センターブログに掲載しています。

地域を支える協働のパートナー、高島の地域を盛り上げる企業をご紹介します。

たかしまの元気！企業



地域の活性化と新しいまちづくりをめざして

－株式会社澤村－ 代表取締役社長 澤村 幸一郎さん

設計、建築施工、不動産販売、リフォームなど、建物と住まいに関する総合的な企業として発展してこられた一方、都市の人々へ高島の暮らし体験などを提供し、移住へつなげる活動を行う『NPO法人結びめ』の代表理事である澤村さんに地域への思いをお聞きました。

■ 高島の魅力を発信し、地域の活性化へつなげたい

◆ 都会から高島への移住を進める活動への思いをお聞かせください。

高島で生まれ、事業をする者として、高島の自然環境、人のつながり、豊かな資源など、高島の魅力を発信して都市からの移住やUターンにより、地域が活性化されることを願っています。この思いからも、高島の文化と暮らしの体験を都市の人に提供し、移住をめざす人々を『NPO法人結びめ』の活動を通して支援していかなくてはいけないと感じています。高島はこんなに魅力的な資源のPRをもっとできるのではないかと考えています。豊かな資源と人や文化の魅力を本気で発信し、移住を促進していかなくてはと思います。移住を進めるためにも、今ある空き家の活用は重要だと感じています。家は適切な手入れやリフォームによって、価値を守りながら住み続ける事が出来ます。技術や知識があると、空き家も楽しんで住むことが出来ます。今後、リフォームなど家に関する講座も社員とともにしていきたいと思っています。

■ 時間をかけて住む人と共に育てるまちをめざして

◆ 新しいまちづくりを提案されているそうですが？

当社の事業として、「地図にない街を描く」をテーマに、新しいコミュニティが生まれる街として「環の街」を設計し分譲しています。道路の形状を曲線にして車の走行スピードを抑え、安心して住める街、植栽や景観にも配慮して、住んでいる人のつながりでまちづくりがされる街を目指しています。私たちと住む人で共に育てる新しいまちが今津に生まれつつあるのを感じています。祖父の設計業から始まった事業は、建築、土木、住宅、不動産など各事業へ展開し、年数をかけて育てる社風があります。この「環の街」も年数をかけて育てていきたいと思っています。

NPO法人結びめの事業としてスタートし、4回目の去年はプロジェクトチームで運営された「風と土の交響」は、高島の魅力の発信と地域の方に地域の魅力に気づいていただく事業。この事業も地域の活性化への思いから生まれたのだと感じました。

SAWAMURA GROUP
－地図にない街を描く－
株式会社 澤村

〒520-1121 滋賀県高島市勝野1108番地3
TEL:0740-36-0130 FAX:0740-36-1661
メールアドレス:info@sawamura-shiga.co.jp
ホームページ:http://sawamura-shiga.co.jp/

いろいろやっています！ in たかしま

ここでは、市内のNPO、特徴的な活動のまちづくり団体や自治会が、どのようなきっかけで地域の課題に気付き活動を始めたのか、また活動の輪を広げていったのか、など、活動を展開する上での喜びや課題、これからのビジョンなどを取材して紹介します

あったかいお母さんの 手作りといひん気持ちをこめて

人形劇団あつぷりけ



昭和63年、子ども達に人形劇を見せてあげたいとの思いから、当時、子育て中のお母さん達が集まって、ボランティアグループ「人形劇団あつぷりけ」を立ち上げました。『あつぷりけ』という名前には「あったかいお母さんの手作り」とい

う気持ちが入められています。メンバーは、現在9名。今年で26年目を迎えます。毎週水曜日の19時30分から約2時間、「高島市働く女性の家」で制作・練習を行っています。人形劇だけでなく、影絵や紙芝居、絵本、ブラックライトシアター、パネルシアターなどすべて手作りです。その数は50演目を超えるそうです。毎回、約1時間の公演を、工夫し、助け合いながら楽しんでいます。



清水山城楽クラブ

「楽しみ8割、学習2割」 戦国山城の保全活動

清水山城楽クラブは平成21年に設立し、新旭町の清水山城跡を活動拠点として、その価値を学びながら、戦国山城の保全活動を通じて仲間づくりを行っています。今回お話を伺ったのは、代表の山口好美さん。平成7年に大阪から移住して来られ、平成8年に行われた清水山城跡の発掘調査現地説明会で、その価値を知ったそうです。平成16年には国史跡にも指定されました。

会員は大阪や大津の方を含めた市内外約50名の方、小学1年生から後期高齢者まで幅広い世代で構成され、毎月第2土曜日の午前9時から15時頃まで精力的に活動しています。ガイド学習会や他地域の遺跡見学などと合わせ、春には野草の天ぷらを食べる山城ハイキング、夏にはバーベQや星空をみるキャンプ、秋には「戦国山城体験イクササイズ（戦とイクササイズを合わせた造語）」というイベントの開催

や「琵琶湖一周のろし駅伝」の参加、元旦にはご来光を拜む企画など、「楽しみ8割、学習2割」とおっしゃる通り、本当に楽しんで活動されています。

清水山城とその周辺を愛してくれる 仲間を増やしたい

活動は文化財課の主導ではじまり、その活動を継続する形でクラブを設立。イベントのための資料づくりや準備も大変ですが、お客さまの笑顔や感謝に報われると山口さんはおっしゃいます。また、遊びの中から貴重な文化財だと気付いて、この史跡を守っていくような活動を継続するためにも「子供たちにもっと来てもらいたい。そして、清水山城とその周辺を愛してくれる仲間を増やしていきたい」と話してくださいました。



森を守り活用するため 地域住民がNPOを設立

NPO法人麻生里山センター

高島市朽木麻生の「高島市森林公園くつきの森」をフィールドに、森を活かした環境学習や都市と山村の交流による地域活性化に取り組んでいるNPO法人麻生里山センター（以下、「里山センター」とする）の若林譲さんと石脇和さんにお話を伺いました。



平成18年、地域住民等により設立された里山センターは、高島市「くつきの森」の指定管理者としてスタートしました。翌年には県内の小学4年生を対象とした森林体験学習「おうみやまのこ事業」の拠点施設となるほか、太陽生命保険㈱のCSR活動の一環として「琵琶湖・高島森林づくりパートナー協定」を締結。平成20年には「森林セラピー基地」の認定も受け「くつきの森」ならではの「森の自然観察会」や「森の癒し体験」など様々な事業を計画・実施し、HP（くつきの森で検索）やブログ「くつきの森フォトレター」等で情報発信も行い、活動の輪の拡大に取り組んでいます。

「くつきの森」も枯れ、ナラ枯れ、シカの被害に悩まされていますが、昨年10月には「この森をどんな森にしたいのか？」を関係者で話し合うワークショップを開催し、「美しい里山の再生」という全体ビジョンを共有することができました。そして11月には多くの人の参加を得て、具体的な里山整備作業を実施し、美しい里山の再生に向けてスタートをきりました。また「多くの人にこの森の気持ち良さを感じてもらいたい」と、「森の観察会」や「森のランチ」など誰もが気軽に参加出来る事業を企画し、多くの参加を呼びかけています。



NPO法人麻生里山センター

(高島市朽木麻生443)

- 会員数 / 45名
- 設立 / 平成18年(2006年)
- 代表理事 / 山本 光雄

● 連絡先
電話 0740-38-8099
FAX 0740-38-8012

人形劇団あつぷりけ

(高島市今津町)

- 会員数 / 9名
- 設立 / 昭和63年(1988年)
- 代表者 / 河原田 洋子

● 連絡先
携帯 090-1580-8045
電話 0740-22-0374

